

経営協議会議事録
(令和5年度第3回)

令和5年9月20日(水)
13時30分から15時20分まで
有機エレクトロニクス
イノベーションセンター会議室

出席者

議長 玉手英利
委員 伊藤兵一 伊藤眞知子 鈴木雅史 鈴木道子 谷口 功 西海和久
萩原なつ子 長谷川眞理子
飯塚 博 出口 毅 矢作 清 根本建二 花輪公雄 額瀬 晃

列席者

副学長 林田光祐 大森 桂 羽鳥政男
監 事 渡辺 均 大森夏織

欠席者

委員 吉村美栄子 土谷順彦

議長から、本学経営協議会規程第6条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告があった。

1 経営協議会議事録(6月26日、7月27日～8月1日開催)の確認

玉手学長から、本会議事録(6月26日、7月27日～8月1日開催)について確認があり、議事録が了承された。

2 【協議】国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書(令和5年度)等について

花輪理事から、「国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書(令和5年度)」の内容について審議願うものである旨説明があった。

次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に係る主な意見は以下のとおり。

- ・ 全体的に良くできており、高く評価できる。このように良いものがあったとしても、何かミスがあるとそちらがメディア等に注目されて全体に影響してしまうので、留意願いたい。

3 【協議】国立大学法人山形大学役員給与規程及び職員給与規程改正の方針について

羽鳥副学長から、国立大学法人山形大学役員給与規程及び職員給与規程改正の方針について審議願うものである旨説明があった。

次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に係る主な意見は以下のとおり。

- ・ 職員への説明は、ネガティブに響かないよう配慮すべきである。人勸準拠で対応するが、国大協を通して政府と交渉するなどの対応もやらなければいけない。
- ・ 教職員に対して、財務状況をかなり開いて説明していかないと、協力も得られない。シビアな情報も示しながら理解を得ていくことが大事である。

4 【報告】国立大学法人山形大学職員就業規則の一部改正等について

羽鳥副学長から、議題に関して、報告があった。

本件に係る主な意見は以下のとおり。

- ・ 60歳を過ぎると能力の個人差も大きくなる。リスクリングなどはどのように考えているのか。若い人たちに負担をかけない構成を考えていかななくてはならない。

5 【報告】令和5年度入学者選抜における入試ミスについて
出口理事から、議題に関して、報告があった。

本件に係る主な意見は以下のとおり。

- ・ 22年前に大きな入試ミスがあったにも関わらずまたミスが起り、当時の教訓が伝わっていないのかと非常に残念に思っている。今後このようなことが無いようにしてほしい。
- ・ 受験生が非常に多い大学ではどのようにヒューマンエラーを防止しているのか参考にしてはどうか。
- ・ 今回のミスは氷山の一角であって、非常におざなりになっているのではないかと。ルールが自己解釈できるようになっているとしたら、遵守すればしっかり結果に結びつくようなルールを定め、結果を実証していくべき。膿を全部出し切るという意識で取り組んでほしい。
- ・ 精神論ではなく、人間工学又は生理学に基づき、ヒューマンエラーが起りにくいしくみを検討願いたい。

6 【報告】令和6年度概算要求について
根本理事及び瀨瀨理事から、議題に関して、報告があった。

7 【報告】国立大学法人山形大学特任研究員規程の制定等について
羽鳥副学長から、議題に関して、報告があった。

8 【報告】新型コロナウイルス感染症患者への診療業務等に係る手当の特例を定める規程の廃止について
羽鳥副学長から、議題に関して、報告があった。

9 【その他】国立大学法人山形大学教育研究評議会評議員について
学長から、議題に関して、現段階の検討状況の説明があった。

本件に係る主な意見は以下のとおり。

- ・ 多様な意見を聞くという点では、ジェンダーバランスを考慮して女性を加えることは良いと思う。しかし、動きが速い現代においては、学長及び執行部が責任を持って判断すべきこともある。そのバランスをよく考えるべきである。
- ・ 全学的な女性教員比率が低いと、現段階では、女性教員比率の底上げが進むまでの過渡的措置として考えていかざるを得ない。ポジティブアクションをしていくということが必要なので、改正案の内容が良いのではないかと考える。
- ・ 教育の課題にスピード感を持ちながら改革を進めるという意識が足りない。評議員として追加する方は、中堅層でスピード感のある活動をしている方を入れると良いと思う。

10 その他

同日開催の有機エレクトロニクスイノベーションセンター及びスマート未来ハウス見学会について、以下のとおり意見があった。

- ・ 本日の見学会では良いものを見せていただいた。有機材料のような山形大学が持っている貴重な研究資源の周知にもっと力を入れてほしい。来年の万博に出す、自治体と連携するなど、周知方法を検討してほしい。

次回は、令和5年11月20日（月）に開催することとなった。